

とれくニュース

スポーツクジ



「とれくニュース」は、スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています。

一般社団法人 東京都レクリエーション協会

コンプライアンス講習



レクリエーション・インストラクター養成講座



都民スポレクふれあい大会



令和6年 表彰式・新春のつどい

CONTENTS

- 2 〈特集〉レクリエーション活動におけるリスクマネジメント 元国際基督教大学課程上級准教授 高橋 伸
- 3 〈特集〉リスクマネジメント〈現場から〉 東京都パドルテニス協会 副理事長・事業部副部长 善谷 亮太
- 4 〈特集〉「東京みんなのスポーツ塾」コンプライアンス講習(まとめ)
- 5 令和5年度 レクリエーション・インストラクター養成講座
「公認指導者資格を取って」 東京都福祉レクリエーション・ネットワーク理事 藪田 陽子
- 6 加盟団体の紹介
- 7 令和5年度表彰受賞者・受賞団体 / 東京都レクリエーション協会公認講師 紹介
- 8 現場実習 活動状況 ほか

レクリエーション活動における リスクマネジメント

元国際基督教大学課程上級准教授
高橋 伸

楽しさを伝えるレクリエーション活動の大敵は事故でしょう。事故が起これば、楽しい活動も一瞬で台無しになってしまいます。このような事態を起こさないようにするには、事前の準備と対策を講じるリスクマネジメントをしておく必要があります。

最近「いまだかつてない状況」や「予想だにしない事態」と言われる災害や事故、自然環境の変化が起きて、その対策としてリスクマネジメントの重要性が言われ続けています。レクリエーション活動においては、競技スポーツや野外活動に比べて、比較的风险の少ない活動が多いと考えられますが、自然環境をはじめ参加者の身体的、心理的な状況も多様化してきています。また、最近では良かれと思って行う指導が、人によっては不快と受け止められることもあり、今までの予防・対応処置に加えて、より広範囲の「不測の事態」を考えることが不可欠になってきました。

リスクマネジメントの原則は「予測→対策→対応（事後）」です。考えられるリスク（危険、予想される事態）を想定して対策を講じておくことが、安全で楽しい活動につながります。安全を作ってゆくには「人」「環境」「もの」についてよく知り、観察し、起こりえる様々な状況を予想して対策を講じる必要があります。さらに「最悪の事態を想定」することも、予想外の事態に対応できる準備となります。

一番大事な「人」については対象者、参加者の年齢層、男女の割合、体力、運動能力、技術力、理解力、発達障害の有無などについて理解を深め、起こりえる事故、事態を想定し、対応を検討しておきます。特にレクリエーション活動では年齢・性差、体力・運動能力差が混在していることも多々あり、定期的な活動であっても、時が経つにつれて参加者の健康状態や体力も変化します。普段から人や活動をよく観察し、グループ・団体であれば担当者と話しておくこと、事故、事態の予測もしやすくなり、慌てずに対応できるでしょう。



つれて参加者の健康状態や体力も変化します。普段から人や活動をよく観察し、グループ・団体であれば担当者と話しておくこと、事故、事態の予測もしやすくなり、慌てずに対応できるでしょう。

主な「環境」である会場には事前の下見、見聞が必要です。床の状況や設置物を確認し、衝突、転倒などの危険性の確認と除去が必要です。物によって移動できない場合は、参加者に注意を促すだけでも効果があります。定例活動であっても毎回確認しましょう。

3つ目の「もの」は主に使用する用具についてです。参加者にとって重さや大きさは適当であるか、適切な使用法や確実な組立をしてあるか、劣化などしていないか、またコートやネットなどの設置用具も定期的な安全の確認が必要です。

さらに今後、不測の事態として考慮すべきなのが「ハラスメント」の問題です。ハラスメントとは「優位の力関係のもとで起こる理不尽な行為」です。レクリエーション指導者は、相手に良かれと思って活動していますが、相手にとっては指示や指導が「理不尽な行為」と受け止められることも考慮する必要があります。大切なのは相手を尊重すること、そして指導の言葉や行動が相手にとってどう受け取られているかを考えてみることです。

楽しい活動には安全の保障が必要です。事前の対応をすることは責任を果たすことに繋がります。さらに事故・事態が起こった時は迅速な「対処（応急処置・安全確保）」「連絡（支援・関係団体）」「報告（家族・保護者など）」「記録（報告書、原因調査）」を心がけましょう。



リスクマネジメント

〈現場から〉

東京都パドルテニス協会 副理事長・事業部副部長
善谷 亮太
(練馬区パドルテニス協会 南町パドルテニスクラブ所属)

●東京都パドルテニス協会ホームページ
<https://www.tokyo-paddle.org>

はじめに

パドルテニスは主に体育館で行うミニテニス的一种で、バドミントンコート+αのスペースにて硬式用より気圧が低い公式ボールとグラスファイバー製のパドルと呼ぶラケットを使用します。ダブルスが主で、ジュニアからシニアまで一緒にプレーできるレクリエーション性と、全国大会や都民スポレクふれあい大会などでの競技性を併せ持つレクリエーション・スポーツです。東京都パドルテニス協会（以下、都PT協会）は、2022年に設立20周年を迎え、区市町村協会（正会員）7団体、区市町村協会未整備地域のクラブ（準会員）5団体、合計個人登録者数約600人の組織です。全国組織の一般社団法人日本パドルテニス協会（以下、日本PT協会）に加盟しています。

各クラブの活動におけるリスクマネジメント

日頃の各地域のクラブ活動におけるリスクマネジメントとしては、事故発生防止や参加者のケガの防止があります。具体策としては環境整備や準備体操の励行があり、準備体操の参考として日本PT協会作成のオフィシャルルールブックに一般用とアスリート用エクササイズが写真付きで掲載されています。また、床面に放置したボールで足を捻挫したり、ボールやペアのラケットが身体に当たるなど、参加者がケガをしないよう常に安全に配慮することが求められます。相互に安心してプレーしてもらうため、クラブ会員にはスポーツ安全保険など他者への賠償責任と自身のケガの保険加入を推奨しています。

クラブ運営の継続発展においては、活動場所である体育館の確保のため、学校行事への協力や地域組織への加盟などに努めています。また、新たな愛好者を増やすために、友呼びやホームページでの広報活動を積極的に行っているクラブも多くあります。

都PT協会運営のリスクマネジメント

都PT協会が主催する大会や行事でも参加者のケガに対する保険に都度加入しています。また、「東京みんなのスポーツ塾」をはじめとした指導者の講習会では、参加した日本PT協会公認指導者資格者等に技術指導の他、マナーや安全面への配慮を徹底しています。

都PT協会の運営面では、個人登録者の高齢化とコロナ禍での減少が課題となっています。感染防止策を講じながら徐々に都PT協会・区市町村協会等の活動も再開され、パドルテニスの楽しさを体験いただく機会も増やしています。また、協会規約の改定（2021年）やホームページリニューアル（2022年）で、正会員・準会員からの推薦による役員が運営参画することとし、協会運営へより多くの参画と透明性を目指しています。今後も、取り巻くリスクへの対応を行い、都PT協会の目的（規約第3条）である「会員相互の友好と連帯をはかるとともに、パドルテニスの普及振興に努め、都民の健康増進と文化生活向上に寄与する」ことに尽力していきます。



「東京みんなのスポーツ塾」 コンプライアンス講習（まとめ）

令和5年10月20日（金）、駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場において令和5年度東京みんなのスポーツ塾講習会「スポーツ・レクリエーション団体に必要なコンプライアンス」を実施致しました。（講師：パークス法律事務所 大橋卓生 弁護士）



講習会概要

〈スポーツ団体のコンプライアンス〉

スポーツ団体にコンプライアンスが必要な理由は、公的側面からはスポーツ団体は社会の一員であり、社会のルールを遵守するのは当然だからです。また、ルール不遵守による不利益は、スポーツ団体を取り巻くステークホルダー（アスリート、スポンサー、ファンなど）に迷惑をかけることにつながります。

私的側面からはスポーツ団体が自主的に定めるルールは、そのスポーツ団体の目的（スポーツの価値）を達成するために作成されるものです。そのルールの不遵守は、スポーツ団体自らの存在意義を失わせることになります。

不祥事（＝コンプライアンス違反）が起きると、スポーツ団体には上部団体からの指導・除名、関係者の逮捕、社会的非難、競技人口の減少、団体内部の亀裂といった事態が生じる恐れがあります。

不祥事は不正のトライアングル（機会、動機、正当化）の3つが揃ったときに発生します。不正経理と暴力（体罰）は犯罪、違法行為であることをスポーツ団体は改めて認識することが重要です。

〈不正経理〉

スポーツ団体における不正経理の問題は大きく2つに分類されます。1つはスポーツ団体の役職員が、その地位を利用してスポーツ団体の資金（特に補助金）を私的に着服するケース。もう1つはスポーツ団体の役職員が、団体運営の経費を支弁するため、あるいは使途に関するルールを理解せず、補助金を他の目的で使用するために流用するケースです。



不正経理の原因は明らかです。長年1人の担当者に経理を任せている、経理のチェック体制ができていないか、あったとしても形式的なチェックしかしていないことが起因となっています。手口は虚偽報告（領収書の偽造）、寄付の悪用が顕著です。

不正経理防止のための体制を構築するためには経理担当者一人に責任を集中させない、誰かがみているという意識付けが重要です。

〈スポーツ指導と暴力〉

スポーツ指導で暴力が禁止される理由は人権を侵害する違法な行為であり、「体罰」は、法律上、全く許容されていないからです。

暴力・ハラスメントが及ぼす影響はアスリートに対しては肉体的、自己認識、感情、行動、メンタルヘルス、社会関係、経済的損失等広範囲に及びます。

スポーツ団体に対しては団体の社会的評価の低下・信頼の失墜、アスリート・ファン・スポンサーの喪失、団体の資産価値の毀損といった悪影響をもたらします。

暴力を許さない体制を構築するためには組織的な取り組みが重要です。暴力を許さないとの競技団体としての宣言と行動、暴力に頼ろうとする指導者への教育、隠ぺいを許さない対応が必要になってきます。

スポーツ団体にとって暴力根絶は組織を挙げて取り組まなければならない問題です。

〈大切なこと〉

不祥事（＝コンプライアンス違反）を起こさないためにはスポーツ団体関係者個々人が自分自身に「正当化（＝一線を越える）」を許さないことが重要です。

一線を越えないためにはどこかで誰かが見ていると常に意識する、自分の行動次第で多くの人に迷惑をかけてしまう、社会のルールを”知っている”ことと、いざというときに”遵守できること”は大きな差があることを認識するといった規範意識を維持することが肝要です。

※今回の研修は都レク加盟団体に共有する必要性が高いことから、録画の上、オンラインで受講できるようにし、令和6年1月31日まで都レク加盟団体に限定公開しました。



令和5年度

レクリエーション・インストラクター養成講座

令和5年11月4日・25日・26日・令和6年1月13日・14日の5日間、
レクリエーション・インストラクター養成講座（集合学習）を開催しました。



講師として関わって

東京都レクリエーション協会副会長・公認講師 福田 豊

11月4日から1月14日の5日間のうち、私は3日間を担当いたしました。レク活動を体験していただいた後、個人で支援技術を考慮した1つのレク活動の展開案を作成し、全員に発表していただきました。次に3～5名のグループで子ども・一般・高齢者対象の展開案を作成・発表していただきました。すべての発表で、よさや個性が見られ素晴らしかったです。講座を通して25名の受講生は仲間としての絆が深まり、とても嬉しく思います。

【受講生の声】

- 楽しみながら学ぶことができました。
- 良い仲間・先生方と会えて楽しかったです。
- 先生方のアドバイス、皆からの意見が納得できるもので更なる学びができました。
- 発表の中で皆が実演されている時の笑顔が一番印象に残ってます。

公認指導者資格を取った先輩から（レクリエーション・インストラクター）

東京都福祉レクリエーション・ネットワーク 理事 藪田 陽子

高齢者のデイサービスやデイケアでは毎日、必ず行われる『レク』の時間。

私がデイに勤務した頃もレク担当の職員が交代で行い、その時間を利用者はととても楽しみにされていました。しかし毎日違うレクを提供していると、ネタ切れやワンパターン化してしまい、利用者のウケばかりを気にして悩む日々・・・気が付くと自分自身がレク恐怖症になってしまいました。そんな時に『レクリエーション・インストラクター』の資格があることを知り、挑戦することにしました。緊張気味に受講した初回の講義からとても楽しく、アイスブレイクやホスピタリティの重要性を学びました。レクリエーションは人と人の思いやりであり、人の心を元気にする働きがあり、自分自身が楽しくないレクをいくら提供しても、相手も楽しくないということを学び『目からウロコ』の気持ちになりました。

現在は入所フロアの業務で、レクは行われておらず、入所者の日々の楽しみは一体何？と考える毎日。

いつか入所の方にも笑顔がいっぱい溢れる時間を提供できるように、諦めずに働きかけていきたいと思っています。また、今後も自分が向上できるようにレクリエーションについての勉強を続けていくつもりです。



東京サイクリング協会

当協会は昭和30年設立の自転車を愛する団体で、サイクリングにて健康づくり、交通安全を進めます。

会員向けのサイクリング・講習会と一般サイクリスト向け江戸川でハーフセンチュリーライドを開催しています。また、視覚障がいの方の団体と合同で、二人乗りタンデム自転車の走行会を楽しんでいます。

皆さまも私たちと一緒にサイクリングしませんか。



台東区レクリエーション協会

加盟団体が定期的集まり、台東区の特徴をアピールしながら区民にレクリエーションの在り方をどのように示していくかを議論しています。

そして、それに伴ったイベント、体験会等の実演を目指そうと考えております。

2024年度は社会福祉協議会との共同事業を開催する予定です。



東京都オリエンテーリング協会

当協会はオリエンテーリングの愛好者が集う、都内12のクラブによって構成されています。オリエンテーリングは森の中や公園等に設定されたチェックポイントを地図を頼りに、回ってくる速さを競う競技スポーツで、19世紀末にスウェーデンで始まりました。協会は加盟クラブの助成をするとともに、独自のイベントを開催しています。2025年には都内でデフリンピックの開催も控えており、より一層活動を充実させていきたいと思ひます。



東京都レクリエーション・コーディネーター会

2002年に日本レクリエーション協会認定の「レクリエーション・コーディネーター」の資格を持つ者で結成された指導者集団です。

活動としては、会員各自が持つレクリエーションの専門性を発揮しながら、各種スポーツ・レクリエーションの普及活動に邁進しております。

また、都レク主催の講習会等においては、多くの会員が講師を務め、役員に、副会長・参与・専門委員5名を派遣しています。



令和5年度 表彰受賞者・受賞団体

■ 秋の叙勲 瑞宝小綬章

並木 一夫 (一般社団法人東京都レクリエーション協会 特別顧問)

■ 文部科学大臣賞 (生涯スポーツ振興功労賞受章者)

湯川 恵子 (東京都福祉レクリエーション・ネットワーク)

■ 都知事賞 (東京都スポーツ振興功労賞受章者)

牧野 正雄 (特定非営利活動法人 手のひら健康バレー協会)

後藤 和頼 (東京都フロアボール連盟)

■ 東京都スポーツ功労賞受賞者・受賞団体

個人 高木 直 (調布市レクリエーション研究会)

幸田 紀夫 (東京都レクリエーション・コーディネーター会)

団体 東京都レクリエーション・コーディネーター会

■ レクリエーション運動普及振興功労者 (公益財団法人 日本レクリエーション協会)

都築 徳良 (東京都スポーツウエルネス吹矢協会)

大塚 忠克 (特定非営利活動法人 東京都ウォーキング協会)

伊藤 教恵 (東京リズムグループ協会)

■ 令和5年度 一般社団法人東京都レクリエーション協会表彰者・表彰団体

個人 藤田 真寿美 (中野区キャンプ・レクリエーション協会)

田代 壽 (NPO法人 東京都ウォーキング協会)

村松 節子 (東京都福祉レクリエーション・ネットワーク)

高木 住子 (東大和市レクリエーション協会)

寒竹 国俊 (NPO法人 東京ティーボール連盟)

秋山 光博 (国分寺ターゲット・バードゴルフ協会)

林 静枝 (世田谷区親子体操連盟)

松原 忍 (NPO法人 ローンボウルズ日本関東協会
東京ローンボウリングクラブ)

岡本 麻里亜 (NPO法人 町田市レクリエーション連盟)

緒方 正幸 (東京都グラウンド・ゴルフ協会)

浦川 久子 (品川区グラウンド・ゴルフ協会)

猿橋 フサ子 (東京都スポーツウエルネス吹矢協会)

川地 玲子 (一般社団法人 日本太極柔力球協会)

小林 容子 (NPO法人 新宿区ウォーキング協会)

清水 経夫 (東京都インディアカ協会)

高安 和臣 (中野区パドルテニス連盟中体クラブ)

団体 ストレッチクラブ カトレア

狛江市ターゲット・バードゴルフ協会

中央連合会クラブ

葛飾区バウンドテニス協会

大田区グラウンド・ゴルフ協会

中野区パドルテニス連盟さくらんぼクラブ

アークコミュニケーションズスキーチーム

東京都レクリエーション協会公認講師 紹介

東京都レクリエーション協会の公認講師制度は、1999年に13名が認定されスタートしました。このコーナーでは認定順に現在登録されている方を掲載しております。

今号までに掲載された方は以下の通りです (敬称略)。

飯坂 徳雄・飯田 弘・幸田 紀夫・澤内 隆・塩沢 迪夫・高尾 都茂子・千葉 佑・丸山 正・村松 節子・小倉 あけみ

レクと私

湯川 恵子

私がレクと出会ったのは「人前で話すのが苦手」な当時、中野レクの講座があり受講したのが始まりです。

日レク、都レクでご指導頂いた先生方、一緒に学んだ仲間達。周りの皆さんに助けられながら今日まで続ける事ができたことに感謝しています。今は高齢者、障がいのある方と、体操・ゲーム・クラフト・ダンス等、お喋りし、笑いながら体力維持を目指しています。「楽しかった!」「体が軽くなった!」「しゃべったね!」の笑顔と声に元気をもらっています。これからも、人を思う気持ちを大切にしながら、もう少しレクを楽しみたいと思っています。



自分が楽しむ・楽しいを伝えて、ともに楽しむ

高木 直 愛称: ちよくさん

学生時代から、地域の子も達と楽しく過ごす地域活動を継続しています。福祉の仕事に長くかかわっていたので、子ども達だけではなく、障がいのある方やご高齢の方とも楽しい時間を共にしたいと思っています。

活動の拠点は、幼いころから居住し、仕事や活動にも取り組んできた調布市です。(もちろん、他のエリアにも行きます) 最近のトピックスとしては、精神科病院の思春期病棟で「ボッチャ」を月に1回やっています。



すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



くじを買うはエールになる



19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

東京都レクリエーション協会では、ホームページに色々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.tokyo-rec.or.jp>



■事務所 所在地

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目29番9号
日本パーティビル3階

TEL : 03-6380-4731 (10:00~17:00)

FAX : 03-6380-4732



「とれくニュース」は、
スポーツ振興くじ助成を受けて
発行しています。

令和5年度助成金交付（内定）額
.....812,000円

令和4年度助成金交付額
.....1,016,000円

スポーツくじ



現場実習 活動状況 (2024.1.22現在)

団体の皆さまにご理解、ご協力いただき、公認指導者資格に必要な現場実習（事業参加・スタッフ参加）を受け入れていただいています。

団体名	会場	実習の形態	
		スタッフ参加	事業参加
NPO法人東京都ウオーキング協会	都内公園施設等	●	●
中央区レクリエーション連盟	中央区内公園、施設等	●	●
東京都福祉レクリエーション・ネットワーク	都内施設	●	
NPO法人東京ティーボール連盟	都内施設	●	●
東京都ウォークラリー協会	都内		●
NPO法人手のひら健康バレー協会	都内施設	●	●
中野区キャンプ・レクリエーション協会	中野区内施設	●	
調布市レクリエーション研究会	調布市内施設		●
東京都インディアカ協会	都内施設	●	
杉並区スポーツ・レクリエーション協会	杉並区内施設	●	●
東京都ユニカール協会	都内施設	●	
東京都バウンドテニス協会	都内施設	●	
東京都パドルテニス協会	都内施設	●	
NPO法人東京トリム体操協会	都内施設	●	
(公財)世田谷区スポーツ振興財団	世田谷区内施設	●	
東京都フォークダンス連盟	都内施設		●
(一財)ドリーム夜さらい祭りグローバル振興財団	都内施設等	●	

とれくニュース vol. 54

- 発行日 令和6年3月1日
- 発行 一般社団法人 東京都レクリエーション協会
会長 塩見 清仁
- 編集 一般社団法人 東京都レクリエーション協会
広報委員会